

8月臨時教育委員会会議録

公開案件

開催日時	平成29年8月9日（水） 午後1時から	
開催場所	奈良市役所 北棟6階 正庁	
出席者	委員	中室教育長、杉江委員、都築委員、畑中委員、吉田委員 【計5人出席】
	事務局	土田補佐、川上係長、中垣
	理事者	【教育委員会】 尾崎教育総務部長、北谷学校教育部長、小橋教育総務部次長、 池本教育総務課長、東畑学校教育課長、 石原選定委員長、錦選定委員長 (許可あり) 田中学校教育課長補佐、岡本係長、田村指導主事、 坂本指導主事、富岡指導主事
開催形態	公開（傍聴人 44人）	
議題	1 議事 議案第17号 平成30年度使用市立小学校「特別の教科 道徳」 教科用図書の採択について 議案第18号 平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択 について	
決定取り纏め事項	1 議事 議案第17号 平成30年度使用市立小学校「特別の教科 道徳」 教科用図書の採択については、「光村図書出版」が 採決された。 議案第18号 平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択 については、原案どおり採決された。	
担当課	教育委員会 教育総務課	

議事の内容

教 育 長

皆さんおそろいでしょうか。

教育総務部長

教育長。本日、平成30年度使用奈良市立小学校「特別の教科 道徳」教科用図書の採択に関わり、奈良市立富雄第三小学校長である石原 伸浩選定教育長を、また平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択に関わり、奈良市立一条高等学校副校長である錦秀知選定教育長を、それぞれ関係者として出席させたいと思います。加えて、教科書採択における補助者として、学校教育課より、田中課長補佐・岡本係長・田村・坂本・富岡の5名を出席させたいと思いますが、よろしいでしょうか。

教 育 長

わかりました。

本日の委員会は、全員が出席しており委員会は成立します。

只今から、8月臨時教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名委員は、杉江委員・都築委員でお願いします。

案件に入る前に、44名の方から傍聴の申し出があり傍聴規則第2条及び第3条の規定に基づきまして、44名の傍聴券を交付しましたので、ご報告をします。

それでは、傍聴の方を傍聴席へご案内願います。

本日の案件に入ります。本日の案件は、議事2件です。

それでは、議事に入ります。

議案第17号「平成30年度使用奈良市立小学校『特別の教科 道徳』教科用図書の採択について」の審議を行います。

平成27年3月の学習指導要領の一部改正等によりまして、これまでの道徳の時間を「特別の教科 道徳」として位置付け、実施されることとなりました。

これまでも道徳教育は、道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して行われてきましたが、例えば、児童生徒に望ましいと思われる分かり切ったことを言わせたり書かせたりする授業がなされているといった指摘もありました。

そこで、道徳の時間を教科とすることで、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れるなど、指導方法の工夫が期待され、子どもたちが、思いやりや生命尊重といったいわゆる、道徳的な価値について理解し、考えを深める授業をめざしていこうとするものです。

この道徳の教科化に伴い、小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度から検定教科書が導入されます。本日の臨時教育委員会において、来年度から使用する小学校の「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択を行おうとするものです。

学校教育課長

まず、奈良市立小学校教科用図書選定委員会及び選定の経過について学校教育課長より説明をお願いします。

はい。それでは、ご説明いたします。奈良市立小学校「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択におきましては、「奈良市教科用図書選定委員会規則」に基づき、教科用図書の採択を適正かつ公正に行うため、奈良市立小学校教科用図書選定委員会及び研究部会を設置いたしました。

選定委員会は、校長、教頭あわせて4名の教員と保護者組織の代表2名の計6名で、研究部会は4名の教員で構成されております。

なお、今回の採択にあたり送付されました教科書見本は、『小学校用教科書目録（平成30年度使用）』に登載された、8つの教科書発行者の計66点となっています。

研究部会では、5月中旬より送付された教科書見本すべてについて調査研究を行い、研究結果報告書を作成して選定委員会に報告いたしました。

選定委員会では、研究部会からの報告や奈良県教育委員会が作成した選定資料を基に、研究結果報告書を作成いただきました。

そして、6月30日に報告会を開催し、石原選定委員長より教育委員に対して調査結果を報告いただきました。各教育委員には報告会以降、調査研究を進めていただくとともに、議論も深めていただいております。

本日は、審議資料といたしまして、「平成30年度使用奈良市立小学校『特別の教科 道徳』教科用図書研究結果報告書」と教科書見本を机上に準備させていただいております。以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。

では次に、石原選定委員長より奈良市立小学校教科用図書選定委員会において、調査研究いただいた具体的な観点について報告いただきます。石原選定委員長、お願いします。

石原選定委員長

はい。それでは、選定委員会での調査研究の具体的な観点について報告いたします。

調査研究にあたっては、教育基本法に定める目的及び理念、学校教育法に定める教育の目標を踏まえ、学習指導要領に定める教科の目標を達成するよう、また、21世紀の社会をたくましく生き抜く人材の育成を目標に掲げた「奈良市教育大綱」及び「奈良市教育振興基本計画」の趣旨を尊重し、これから申します6つの観点に基づき、調査研究を行いました。

1. 題材の選択及び扱いはバランスよくなされているか。
2. 内容の程度は適切であるか。

3. 創意工夫がなされているか。
4. 構成・配列及び分量が適切かつ効果的であるか。
5. 文字の大きさ、さし絵など適切であり、使用上の便宜が図られているか。
6. 奈良市の特色ある教育との関連性があるか。

その他、これら6つの観点以外にも、教科の特性に応じて多様な観点や視点から調査研究を行いました。以上でございます。

教 育 長

ありがとうございます。
ただいま、選定委員長より選定委員会での調査研究の具体的な観点について報告いただきましたが、何かご意見やご質問はございませんか。

畑 中 委 員

教育長。

教 育 長

畑中委員、どうぞ。

畑 中 委 員

はい。私自身、約一か月間に渡り、すべての教科書について調査研究を行いました。どの発行者も重点課題を設け、教材の配置を工夫したり、道徳的課題について、多面的・多角的に考えさせる工夫をしたりしていることがわかりました。

教 育 長

ありがとうございました。畑中委員より、教科書全体に関わってのご意見をいただきましたが、その他にご意見等ございませんか。

都 築 委 員

教育長。

教 育 長

都築委員、どうぞ。

都 築 委 員

はい。私も、今回の教科書について研究をする中で、各発行者ともユニバーサルデザインに対応した取組が進められていると感じました。具体的に申しますと、文字のフォント、見分けやすい色使いやレイアウトなどに配慮した編集となっています。障害やその他の特性の有無にかかわらず、すべての児童にとって読みやすいものにしようとする意図が感じられました。ユニバーサルデザインについて、選定委員会ではどのように検討されましたか。

教 育 長

選定委員長、お願いします。

石原選定委員長

はい。インクルーシブ教育の観点からも、児童にとって読みやすいものとなるような配慮が必要であると考えています。そこで、ユニバーサルデザインに関わることについては、観点3の創意工夫や、

	5の使用上の便宜の観点に含め、検討いたしました。
教 育 長	都築委員、いかがでしょうか。
都 築 委 員	はい。私も、同様な観点で教科書を検討しておりましたので、よくわかりました。ありがとうございました。
教 育 長	他にご意見・ご質問はございませんか。
吉 田 委 員	教育長。
教 育 長	吉田委員、どうぞ。
吉 田 委 員	はい。全国学力学習状況調査では、奈良市の子どもたちは比較的学力は高いものの、学習への意欲は決して高くはないという結果が出ています。こうした傾向のある奈良市の子どもたちが使用する教科用図書として、調査研究において何か検討した点があれば教えてください。
教 育 長	選定委員長、お願いします。
石原選定教育長	はい。まず、児童が学習に興味・関心をもち、自ら学ぼうとする意欲を引き出す記述や工夫があるかに注目して調査研究を行いました。また、世界遺産学習やキャリア教育など、奈良市の特色ある教育に活用できるかについても研究いたしました。
吉 田 委 員	吉田委員、いかがですか。
教 育 長	はい。よく分かりました。 他に、ご意見、ご質問はございませんか。 ないようでしたら、審議に移りたいと思います。審議では、まず、選定委員長と担当いただきました教育委員より発行者ごとに報告をいただきます。その後、全体で審議を行い、8者の中から1者を選定・採択を行うという手順を進めてまいりたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。
各 委 員	異議なし。
教 育 長	それでは、まず、発行者ごとの教科用図書の主な特徴を報告していただきます。初めは、東京書籍です。石原選定委員長、お願いします。

石原選定教育長

はい。東京書籍は「いじめの問題」「防災教育」「情報モラル教育」等といった今日的な課題を幅広く、バランスよく配置していると感じます。中でも、「いじめの問題」の学習においては、導入として「とびら」『いじめのない世界へ』を設け、児童の関心を高めた後、2教材を連続して配置しています。1つは「いじめの問題」を直接的に扱った内容、もう1つはいじめの予防につながる間接的な内容となっています。このことから、「いじめの問題」の学習に重点を置いた教科書と言えます。

また、教材によっては、「出会う・ふれ合う」「つながる・広がる」などのページが設定され、活動を通し、学習を広げていく工夫がみられました。

東京書籍は、読み物教材を中心に、どの学年も35教材を配置し、授業を実施するには十分な教材量です。各教材には学習の手引きがついていますが、1、2年生の教科書にはそれがついていないのが気になりました。私からは、以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。続きまして、東京書籍を担当していただいた都築委員から報告願います。

都 築 委 員

はい。それでは、報告いたします。まず、全体的に教材のバランスが良く、内容・構成がしっかりした教科書だという印象を受けました。社会の激しい変化や科学技術の進展など、様々な課題があることを踏まえ、「考える道徳、生きて働く道徳性の育成」を目指して作成された教科書であると言えます。例えば、5年生の65ページ、「これって『けんり』？これって『ぎむ』？」は、「権利と義務」についてストレートに問いかけることで、権利と義務の言葉の定義などを論理的に考える教材となっています。

また、1つの題材で多方面から学べるよう工夫された教材があります。例えば、4年生の88ページ「ふるさとを守った大イチョウ」は、平和や生命、郷土の大切さなどをテーマとしています。このような教材を活用することで、児童には多面的なものの見方が身に付くと考えられます。

さらに、各学年の巻末には、「学習のふり返し」というページがあり、児童が書き込むことによって、自らの成長を見つめることができます。巻末付録は写真なども美しく、他教科と関連づけた学習を行うことが可能であると感じました。以上でございます。

教 育 長

ありがとうございます。続きまして、同じく東京書籍を担当していただいた吉田委員から報告をお願いします。

吉田委員	<p>はい。私も、都築委員と同じように、全体的にバランスが良い教科書であるという印象をもちました。また、3年生以上に設定されている「問題を見つけて考える」というページでは、主体的に考え、対話することを通して深い学びへ導く工夫がみられます。</p> <p>情報モラルに関する教材は、どの学年も巻末辺りで学習するように配置されていますが、問題点に直接的にふれているという印象をもちました。しかしながら、問題点が明らかにされていることは、子どもたちにとって分かりやすいという利点がある一方で、子どもたちに気付かせるという学びの視点に欠けているように感じます。</p> <p>東京書籍には別冊のノートはありませんが、巻末にある「学習のふり返し」ページを活用することで1年間のまとめをすることができます。しかし、1、2年生の教科書に学習の手引きとなる問いかけがないため、教員にとって不便ではないかと懸念します。また、手引きがあっても問いかけが2段階のもので、学びを深めるには十分ではないと感じました。以上です。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。ただ今の報告について、ご意見、ご質問はございませんか。</p>
杉江委員	<p>教育長。</p>
教育長	<p>杉江委員、どうぞ。</p>
杉江委員	<p>はい。先ほど、吉田委員が学習の手引きについて報告されていましたが、選定委員会における学習の手引きについての見解を教えてください。</p>
教育長	<p>石原選定委員長、お願いします。</p>
石原選定教育長	<p>はい。学習の手引きがあれば、それを学習の目安として授業を展開することができます。特に、経験の浅い教員にとっては、そのような手引きがあることで、授業の進め方を確認することができ、有効であると考えます。</p> <p>しかしながら、手引きにおける問いかけが2段階しかないということに関しましては、吉田委員のご指摘のとおり、学びを深めるという点では十分ではないように感じます。</p>
教育長	<p>杉江委員よろしいでしょうか。</p>
杉江委員	<p>はい。私も同様に感じておりました。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>

畑 中 委 員	教育長。
教 育 長	畑中委員、どうぞ。
畑 中 委 員	はい。先ほど、選定委員長の報告の中で、「いじめの問題」に関わる教材を連続して配置しているとありましたが、連続して学習することへの効果はどのようにお考えですか。
教 育 長	選定委員長、その点についてはいかがですか。
石原選定教育長	はい。いじめについて集中的に学ぶことができますが、その2つの教材を効果的に結びつけて教えられるかどうかは、指導者の力量に負うところが多いと思います。
畑 中 委 員	わかりました。ありがとうございました。
教 育 長	その他に意見はございませんか。 ないようでしたら、次に、学校図書の報告に移ります。選定委員長、報告をお願いします。
石原選定教育長	はい。学校図書は、オリンピックや情報モラルといった今日的な話題も「読みものコラム」で取り上げるなど、読み物教材を中心に多彩な題材を取り上げた教科書であると言えます。 中でも、「いじめの問題」に関する教材が多く、各学年で5～7つの題材が取り上げられています。また特に高学年では、先人の伝記から、自分自身のことを考え、人とどう関わるかを考えさせるような教材が多くなっています。 さらに、5年生の74ページで「法隆寺」保存に関わった宮大工の西岡常一さん、6年生44ページで「正倉院」を題材にした教材もあります。これらは、奈良市の世界遺産学習と関連付けて学習を進めるのに活用することができると思います。 最も特徴的な点は、「読みもの」と「活動」の2分冊になっていることです。「読みもの」には発問がないので、児童は先入観なく教材を読み進めることができますし、また、読んだ内容を基に、「活動」に集中することができます。これは、より学習を深めるための工夫であると思います。「活動」は内容項目ごとに見開きでまとめられているため見やすく、また、道徳的価値を見つめ広げる「特設ページ」も設けられています。以上で報告を終わらせていただきます。
教 育 長	ありがとうございました。では、続きましてご担当いただいた畑中委員から報告いただきます。

畑 中 委 員

はい。学校図書は、各学年とも目次の後に「道徳の学習を始めよう」というページを設け、道徳の授業で大切にしている項目を挙げています。これにより、自分なりに考えたり、人の意見を聞いたりすることを通して、課題を多面的に考える姿勢を促すだけでなく、自分を見つめ、考えを発信するといったことを大切にしている授業スタイルの提案をしています。

石原選定委員長の報告にもありましたように、「読みもの」と「活動」の2冊構成になっていることが、特徴的です。「活動」には、問題解決的な学習や、体験的な学習など、道徳的価値に迫るのに効果的な活動が設定されており、児童の多様な学びを促すと考えます。

また、「活動」には、教材によって追加のコラムがあり、主題に関連した本の紹介などが掲載されています。これは、視野を広げるのに役立ち、学びを深める工夫であると考えます。以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。続きまして、同じく学校図書をご担当いただいた都築委員から報告いただきます。

都 築 委 員

はい。私も、「読みもの」と「活動」に分かれた2冊構成であることが、特筆すべき点であると思います。しかし、「読みもの」の教材順と「活動」の教材順が一致していないので、使うときに戸惑ってしまうことを懸念いたします。

また、題材として、情報モラルを扱った教材を1年生から継続して取り上げ、具体例を提示していますが、コミュニケーションそのものについて深くとらえることができるような工夫がもう少し必要ではないかと感じます。しかしながら、子どもたちに親しみのあるスポーツ選手など著名人の話が多く、子どもの興味を引く教材もあるように感じました。以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。なにかご意見はございませんか。

吉 田 委 員

教育長。

教 育 長

吉田委員、どうぞ。

吉 田 委 員

はい。ただ今の報告をお聞きしますと、別冊の「活動」はノートとしての役割を果たすものではないように思うのですが、実際の授業では、教科書以外にもノートをもたせたり、ワークシートを作成したりする必要があるのでしょうか。

教 育 長

選定委員長、この点についてはいかがですか。

石原選定教育長	はい。実際に授業をする教員にもよると思いますが、別冊の「活動」には書き込む欄がほとんどありませんので、これとは別に、ワークシートやノートが必要になってくると思います。その場合、授業に必要な道具が増えてしまい、低学年の児童がうまく扱えない可能性があるかもしれません。
吉 田 委 員	ありがとうございました。
教 育 長	その他にご意見はございませんか。
杉 江 委 員	教育長。
教 育 長	杉江委員、どうぞ。
杉 江 委 員	はい。奈良市の世界遺産学習と関連付けて学習を進めることができる教材があることは興味深いですが、それについて、選定委員会ではどのように検討されましたか。
教 育 長	選定委員長、説明願います。
石原選定教育長	はい。確かに、奈良に関する題材を扱っているという点で、児童が親しみをもって読むことができると思います。しかし、内容の扱いが浅く、もう少し掘り下げて考えさせる教材の工夫が必要ではないかと考えております。
教 育 長	ありがとうございました。その他に意見はございませんか。ないようでしたら、教育出版の報告に移りたいと思います。それでは、選定委員長、報告をお願いします。
石原選定教育長	はい。教育出版の教科書には、これまで読み継がれてきた教材に加え、学校や家庭、地域における児童の生活場면을題材とした教材や、先人の伝記が各学年に掲載されています。 また、学校生活の流れに合わせ、学年の始めに「自分のこと」や「人とのつながりに関すること」を多く配置し、自然に学習に入れるようにしています。教材の終わり方がオープンエンドとなっており、道徳的価値について児童に考えさせる工夫もみられます。 さらに、毎時間の「学びの手引き」で学びの道筋を示し、各学年に配置されている「スキル」の学習では、ロールプレイを取り入れるなど、道徳的な心情と実践力を培うことが期待できると感じました。本教材の数は、活動のページである「スキル」なども含め29教材

ですが、補充教材も5つあり、35時間分の授業を行っていくのに十分な教材が収録されています。また、この教材の数ですと、児童の実態に合わせて、教科書以外の投げ込み教材を活用することにも対応でき、柔軟な使用に適した量と考えます。以上が、教育出版に関する報告でございます。

教 育 長

ありがとうございました。では、続きまして担当いただいた杉江委員から報告いただきます。

杉 江 委 員

はい。教育出版が重視しているテーマは三点あり、第一に「生命を尊重する態度の育成」、第二に「いじめをなくす態度の育成」、第三に「情報モラルを守る態度の育成」を主眼に置いています。

各教材は、文章を読み、「学びの手引き」にある設問で気づきを促す構成となっています。

学年末には1年間の学習を振り返るページがあり、保護者や教員が書き込める欄もあります。1年間の学習で心に残ったことを記入し、上級学年への学習へとつなげることができるようになっています。

読み物教材は、定番以外にも偉人などを扱ったものが多く、特に高学年に集中しています。しかしそういった伝記は、人の営みから自らの生き方を考えることができる教材となる一方で、深い学びや子どもの気づきを促すことが難しいように感じました。例えば、5年生54ページの「自動車への限りない夢」では豊田喜一郎さんを扱っており、この教材についての「学びの手引き」には4つの問いがあります。しかし、これらの問いは、深い学びにつなげにくい問いとなっています。

これらの教材から、子どもの深い学びを引き出せるかどうかについては、教員の力量次第であるように感じました。教育出版についての私からの報告は以上です。

教 育 長

ありがとうございました。続きまして畑中委員、お願いします。

畑 中 委 員

はい。私は、第一に、教科書サイズがA B判で取り扱いやすい教科書であると感じました。

また、杉江委員の報告にありました学年末に学習の振り返りを書くページの他にも、1年間の初めに、今の自分について書く欄が設定されています。児童が、道徳の学習を経た自分の心の変化や成長に気付くことができる工夫がなされていると思います。

さらに、これも杉江委員が述べられたように、偉人の伝記を扱った教材が多数ありますが、それらの教材は、本文を読んだ際に本文に答えがあり、それを探し出すという問いかけをしている印象を持ちました。子どもたちの深い学びを促す問いの設定の仕方が難しいと

	<p>感じます。</p> <p>補充教材は題材が充実しており、キャリア教育につなげることができますが、学びの手引きがついていないのが気になりました。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。それでは、なにかご意見やご質問はございませんか。</p>
吉 田 委 員	<p>教育長。</p>
教 育 長	<p>吉田委員、どうぞ。</p>
吉 田 委 員	<p>はい。各学年に2回程度、ロールプレイなどの体験学習を扱う「スキル」のページがありますが、実際に指導をする際に、この「スキル」の回数については十分でしょうか。</p>
教 育 長	<p>選定委員長、この点についてはいかがですか。</p>
石原選定教育長	<p>はい。確かに、年2回で十分な教育的効果があるとは言えませんが、教員にとって、ロールプレイという手法があるという気付きにはつながると思います。</p>
吉 田 委 員	<p>そうですか。私も同様に感じていました。ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>その他に意見はございませんか。</p>
都 築 委 員	<p>教育長。</p>
教 育 長	<p>都築委員、どうぞ。</p>
都 築 委 員	<p>はい。私は、他者の教科書に比べ、学びの手引きが詳しいという印象をもちました。例えば5年生79ページの教材には設問が6つありますが、教員にとってこの量はどうかでしょうか。</p>
教 育 長	<p>選定委員長、この点についてはいかがですか。</p>
石原選定教育長	<p>はい。小学校の授業は通常45分です。その中で、教材を読む時間や、授業の最後には学びを振り返る時間が必要であることを考えると、これだけの数の設問があると、時間内ですべてを丁寧に扱うことができない可能性があります。道徳は読み取りをする教科ではないことから考えても、この設問数は多いと考えています。</p>

都 築 委 員

設問数の多さについては私も同様に感じておりました。ありがとうございました。

教 育 長

その他に意見はございませんか。
ないようでしたら、続いて光村図書出版の報告に移りたいと思います。
選定委員長、報告をお願いします。

石原選定教育長

はい。光村図書出版は、読み物以外にも、詩やマンガ、児童の作品等、多様な形式の作品を教材に使用するなど、児童の「学びたくなる意欲」を刺激するような工夫がなされています。また、生活に根ざした身近な内容の教材を、児童の発達段階や学校生活の流れに応じて取り上げているので、無理なく学習することができます。さらに、児童が深く考える道徳へと促すことができるよう、登場人物の葛藤場面が丁寧に描かれていると感じます。
こうした教材とは別に、光村図書出版は「学びの記録」のページが年間4回程度設けられています。この「学びの記録」は見開きでまとめて配置されており、児童が記録をしながら自分自身の心の変化に気づくことができると思いました。また、教員が児童の評価をする際に活かすこともできると思っています。以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。
光村図書出版は私が担当いたしましたので、続けて報告いたします。
光村図書出版は、「いじめ」や、「国際理解」、「情報モラル」等といった今日的な課題を系統的に扱うことができるよう、多様な題材をバランスよく配置しています。特に、道徳が教科化されるきっかけとなった、「いじめの問題」については、児童が読み進む中で「いじめ」に真正面から向き合い、より深く考えることができるよう、各学年、教材とコラムを組み合わせたユニットを配置した構成となっています。また、発達段階に応じて、関係する法律にもふれているので、「いじめ」が社会的にも重大な問題となっていることを学ぶことができます。

「学習の手引き」についてですが、すべての教材に「考えよう」「つなげよう」の項目が設定されています。ほとんどの「考えよう」では、「道徳的問題を明らかにする」問い、「道徳的価値について考えを深める」問い、そして、「培った価値観を基に、問題を自分のこととしてとらえ、行動に結びつける」問いの3つの問いが設定されています。この手引きを活用することで、子どもが主体的に思考を深めることができます。

総合的に見て、子どもの心を捉える教材が多く、様々な人の葛藤にふれ、互いに共感しあうことにより、道徳科の授業でめざす「考え

	る道徳」、「議論する道徳」にもつながると感じました。以上です。続きまして、杉江委員から報告をお願いします。
杉江委員	はい。私は、入学して初めて道徳の授業に出会う1年生用の教科書を中心に研究しました。教材をみますと、まず始めには、学校の規則やきまりを守らなくてはならないということ、人やもの、自然などに思いやりをもつこと、友達を大切にすること、など、子どもたちにとって基本となるテーマを扱った教材が並んでいます。それを含めた全34教材がバランスよく配置されていると感じました。このような構成及び流れは、2年生から6年生にも一貫して踏襲されており、児童が系統的に学びを深められる教科書であると感じました。以上です。
教育長	ありがとうございました。報告につきまして、ご意見、ご質問はございませんか。
畑中委員	教育長。
教育長	畑中委員、どうぞ。
畑中委員	はい。光村図書出版は、教科書のサイズが、唯一B5判となっています。紙面が小さいことで、文字なども小さくなるのではないのでしょうか。
教育長	選定委員長、この点についていかがですか。
石原選定教育長	はい。確かに、選定委員会でも、文字の小ささを懸念する意見がありました。しかし、光村図書出版は、読み手が圧迫感を感じることがないように、レイアウトを工夫するなど、読みにくさを感じませんでした。むしろ、教科書のサイズが小さいことで、特に、低学年児童にとっては扱いやすいと考えます。
畑中委員	ありがとうございました。
教育長	その他にご意見やご質問はございませんか。
都築委員	教育長。
教育長	都築委員、どうぞ。
都築委員	はい。道徳の時間に学んだことを書き込める「学びの記録」のペー

教 育 長	<p>ジが年間4カ所程度となっていますが、評価することを考えた場合、この量で適当でしょうか。</p>
石原選定教育長	<p>このことについて、選定委員長、お願いします。</p> <p>はい。全体量として多くはありませんが、児童が、書くことにのみ時間を取られることなく、しっかりと自分のことを振り返り、心の変化を記録することができる量だと思います。また、低学年では文章で表記するのではなく、記号を選択する形式をとっています。これは、発達段階に配慮した点であると言えます。本文の教材については、ノートやワークシートなどを活用する必要があると思いますが、「学びの記録」ページに関しては、児童に負担となりすぎずに活用できると考えます。</p>
都 築 委 員	<p>ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>他にございませんか。</p> <p>ないようでしたら、日本文教出版の報告に移りたいと思います。それでは選定委員長、お願いします。</p>
石原選定教育長	<p>はい。日本文教出版は、児童の身近な出来事を教材化しているだけでなく、発達段階に即した内容となるように配置しています。目次で色を変えて明示していることから分かるように、例えば防災教育などの現代的・社会的な課題を重点的に扱っている教科書であると言えます。</p> <p>「考えてみよう」や「見つめよう・生かそう」では、児童が自分の生活と結び付けて考えることができるような内容の発問を設けるだけでなく、「課題解決的な学び」や「体験的な学び」に適した教材には、児童が実際に取り組みやすいように、学習の手引きに具体的な写真などで流れを提示しています。また、児童の考えを広げ深めるために特設ページ「心のベンチ」も配置しています。このように、構成・内容にも様々な工夫が見られました。</p> <p>各学年末に、発問が添えられた3つから4つの付録教材があります。付録教材の発問も、本教材と同じように、別冊の「ノート」にも、書き込み欄があります。そのため、付録教材も、本教材と同じ扱いはできるので、同じ内容項目を扱った本教材と入れ替えて使用することが可能となっています。以上が、日本文教出版についての報告です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。続きまして、ご担当いただきました吉田委員、報告をお願いします。</p>

吉 田 委 員

はい。まず、別冊の「道徳ノート」があることが特徴であると言えます。教科書の教材順で構成されているので、使いやすいノートであると感じます。また、「友達の考え」を書く欄や、3段階でその日の学びを振り返る欄があるなど、学びの記録もできるように工夫されています。さらに、3年生以上のノートには罫線があるため、書き込みがしやすくなっています。

情報化への対応を扱った教材では、「情報モラル」を前面に出すのではなく、他のテーマも絡めながら情報モラルについても考えさせており、児童が自ら気づき、学べる教材となっています。

その他、いじめの問題や、防災教育を扱った題材が多く、読み物教材の後には、「心のベンチ」や「学習の手引き」を活用して、話し合い、学びを深めることができるよう工夫されています。

全体的に、内容項目がバランスよく配置されている教科書であると感じました。

教 育 長

ありがとうございました。

私も日本文教出版を担当いたしましたので、ここで報告させていただきます。

吉田委員の報告にもありましたように、別冊の「道徳ノート」に工夫がみられます。児童が扱いやすい大きさであるだけでなく、児童が取り組みやすい内容となっています。このノートは児童の評価に活用することができるだけでなく、巻末にある保護者の記入欄を通じ、学校と家庭をつなぎ、子どもの成長を共有することができると感じます。

また、特設ページの「心のベンチ」では、教材と関連した内容が、本文教材とは異なる角度から問題を考えることができるように例示されています。これは、多面的・多角的な見方や考え方の育成を図るための工夫であると思います。以上です。

それでは、なにかご意見やご質問はございませんか。

都 築 委 員

教育長。

教 育 長

都築委員、どうぞ。

都 築 委 員

はい。道徳ノートには、「友達の意見を書く」欄がありますが、意見を聞き取り文章にするということは、特に1年生の児童にとっては難しいのではないかと感じます。このような活動をする場合、低学年の児童に対して、どのように指導しておられますか。

教 育 長

選定委員長、都築委員の質問に対して、学校現場ではどのように対

	応しているのかお聞かせください。
石原選定教育長	はい。友達の見聞を聞くといった場合、低学年では、ペアで意見を交換する活動などを行うことがあります。まずは少人数で意見を言いやすい環境を作り、友達が言ったことを聞きとることに慣れさせていきます。それを記録することに関しては、慣れないうちは少し難しいかもしれません。
都 築 委 員	ありがとうございました。
教 育 長	その他にございませんか。
杉 江 委 員	教育長。
教 育 長	杉江委員、どうぞ。
杉 江 委 員	はい。他の教科書でも、ロールプレイなどの体験的な学習が取り入れられていますが、学校では実際にそのような活動をしておられるのでしょうか。
教 育 長	選定委員長、この点についてはいかがですか。
石原選定教育長	はい。ロールプレイを取り入れた活動は、まだまだ回数が少ないと言えます。しかしながら、コミュニケーション能力の育成を図る上でも、今後は積極的に取り入れる必要のある活動であると認識しています。
教 育 長	杉江委員、よろしいでしょうか。
杉 江 委 員	ありがとうございました。
教 育 長	その他に意見はございませんか。 ないようでしたら、光文書院の報告に移りたいと思います。選定委員長、お願いします。
石原選定教育長	はい。光文書院は、学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすい題材に加え、生命の尊さや伝統文化、いじめの問題などを扱った題材も多数掲載しています。特に生命の尊さについては、全学年で重点項目として取り上げ、教材を配置しています。本教材と付録教材をあわせて40教材が収録されており、十分な量であると考えます。

また、巻末にある折り込みの「学びの足あと」を記録するページは、心の矢印やひと言欄などを設けることで、子どもたちに授業での気づきを振り返らせることができるように工夫されています。

さらに、大きな挿絵や写真を使用するとともに、行間に余裕を持たせるなど、A判サイズを活かしたレイアウトとなっていること、設定の挿絵キャラクターが問いかけるスタイルによって、児童が実感をもって活動に取り組める工夫がされていることも特徴です。以上でございます。

教 育 長

ありがとうございます。それでは、ご担当いただいた都築委員、お願いします。

都 築 委 員

はい。まず全学年、冒頭8ページがオリエンテーショナルな内容となっており、道徳の授業の導入に活用できると感じました。また、道徳の学習の目的や学びのサイクルについて触れられていることから、児童に体験することの大切さを気づかせるとともに、主体的に取り組む姿勢を促す役割も果たしていると思いました。教材の内容としては、子どもにとって身近な教材を扱っていますが、ハッピーエンドとなるものが多いように感じました。学級や学校生活に関わった問題を題材として取り上げていますが、その問題となっていることが模範解答のようにうまく解決されていくような構成のものが多く、果たして心に響く教材となっているのかどうか疑問に感じます。

また、情報モラル等に関する教材は8者の中で最も多く収録されています。しかし、1年生の46ページで「ネットマナーとはなんでしようか」と、非常にストレートに取り上げた教材は、児童の実態に即した教材の選択という観点から考えると、1年生で学ぶ内容として適切かどうか、少し疑問に感じました。

教 育 長

ありがとうございます。続きまして杉江委員、お願いします。

杉 江 委 員

はい。光文書院の特徴として、教科書の下に設けられた脚注を挙げたいと思います。他者では、学習の手引きとなる設問は本文の最後にありますが、光文書院の場合はそれに加えて、脚注の中でも、吹き出しを用いて問いかけをすることで、児童に考えるポイントや大切な視点を提示しています。それらが、児童の気づきや思考を促すはたらきをしており、工夫された点であると考えます。

もう一点、光文書院の際立った特徴を挙げるとすれば、伝統と文化、特に日本の伝統と文化を扱った教材が非常に多いことです。例えば、5年生58ページ「日本の心とかたち—真・行・草—」では、書道だけでなく、おじぎの仕方にも真・行・草があることをくわしく紹

	介しています。以上です。
教 育 長	ありがとうございました。何かご意見はございませんか。
畑 中 委 員	教育長。
教 育 長	畑中委員、どうぞ。
畑 中 委 員	はい。脚注において、キャラクターが詳細な問いかけをしている一方で、本文の最後の問いかけが、「まとめ的な問い」となっているように思うのですが、このような構成は、子どもが読み進んでいく上でどうなのでしょう。
教 育 長	選定委員長、この点についてはどのようにお考えですか。
石原選定教育長	はい。脚注のキャラクターによる問いかけについては賛否両論あるかと思いますが、読んでいる途中に「問いかけ」があると、ある一定の見解へと児童が誘導される恐れがあるのではないかと懸念いたします。
畑 中 委 員	ありがとうございました。
教 育 長	その他にご意見やご質問はございませんか。
吉 田 委 員	教育長。
教 育 長	吉田委員、どうぞ。
吉 田 委 員	はい。各学年に1つずつ、「みんなでやってみよう」という様々な活動教材がありますが、前後の教材の題材とはあまり関係がないため、授業での扱いが難しいように感じます。
教 育 長	この点については、選定委員長、いかがですか。
石原選定教育長	はい。吉田委員のご指摘の通り、授業でどう取り扱うか、活動時間をどう確保するかという点では、難があると思います。また、前後の教材との関連性がないのであれば、活動内容が、単なるロールプレイに終わるのではなく、児童の道徳的実践力の育成につながるようなものであることが、必要であると思います。
吉 田 委 員	ありがとうございました。

教 育 長

その他に意見はございませんか。
ないようでしたら、学研教育みらいの報告に移りたいと思います。
選定委員長、よろしくお願いします。

石原選定教育長

はい。学研教育みらいは「詩」や「写真」、「権利条約」や「漫画」などを教材として活用し、読み物教材に偏っていないだけでなく、題材も魅力的なものが多いように感じました。
「命の教育」を全学年の重点とし、低学年は「命と自分（個性の伸長）」、中学年は「命と友だち」、高学年は「命と自分の生き方」というように、2学年ごとに重点テーマを設定しています。
また、重点項目には複数教材を配置し、ユニットを構成することにより、多面的に考える授業の展開が可能となっています。
さらに、各教材には、主題名が本文より前に記載されていないため、特定の価値観を押し付けることなく、児童が自ら主体的に課題を発見し、考えを深め、自己を見つめることができるように工夫されています。
紙面はA4判というサイズの大きさを活かして、絵や写真を効果的に配置するなど、児童の感性を刺激するビジュアルを意識した構成であると感じました。以上が、学研教育みらいについての報告でございます。

教 育 長

ありがとうございます。それでは、担当いただいた畑中委員より報告願います。

畑 中 委 員

はい。学研教育みらいは、教科書サイズがA4判であるため、活字や絵が大きく、読みやすいように感じましたが、その一方で、6年生の40ページなどは、挿絵が大きすぎて本文の内容が入ってきにくいのではないかという印象を持ちました。
また、題材に、話題の人物やミッキーマウスなどの身近なキャラクターを取り上げるなど、子どもの興味を引くように工夫されています。
教材には、「深めよう」「やってみよう」「広げよう」「つなげよう」などといった学び方が提示されており、多様な学びの展開が可能です。巻頭には1年間の始めに自分を見つめる「マイプロフィール」のページ、巻末には学びを振り返り自分の成長を感じる「心の宝物」のページがあります。1年間の学びをつなげる工夫であると感じますが、好きな遊びや言葉を書くだけでなく、道徳を学んでどう変わっていったかなど、書く内容を充実させる工夫が欲しいように感じました。以上が、学研教育みらいの報告です。

教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして担当しました私より報告いたします。</p> <p>教科書の大きなサイズを生かし、ビジュアル的にも児童の興味関心を引くよう工夫がなされた教科書です。また、多様なジャンルの題材が取り上げられており、これまでの副読本的なものから一步踏み出した教科書であると感じました。</p> <p>読み物だけにこだわらず、詩や写真、漫画等を有効に活用し、児童の意欲を高め、主体的な学習となるような教材を各学年にバランスよく配置しています。4年生の76ページで扱われている山口絵里子さんについては、私自身もキャリア教育の視点から注目していた人物であります。道徳教育との関わりという視点から彼女の取り組みについて考えることができました。</p> <p>それでは、ご意見等はございませんか。</p>
都 築 委 員	教育長。
教 育 長	都築委員、どうぞ。
都 築 委 員	はい。報告いただいた畑中委員にお尋ねしたいのですが、多様な学びの展開を可能にする「深めよう」「やってみよう」「広げよう」「つなげよう」といった学び方が提示されているということですが、もう少し具体的に、どのような内容でしょうか。
教 育 長	畑中委員、いかがですか。
畑 中 委 員	はい。具体的には、「深めよう」は、教材で取り上げられている道徳的価値について、「自分ならどうするだろう」というような視点で考えを深められるような流れになっています。「やってみよう」は教材の内容をもとにしたロールプレイ的要素を取り入れるなど、体験的な学習活動が提示されています。「広げよう」や「つなげよう」では教材に関連するコラムや情報を追加し、自分の生活につなげて考えたり、視野を広げたりする工夫が見られました。
都 築 委 員	よく分かりました。ありがとうございました。
教 育 長	その他に意見はございませんか。
杉 江 委 員	教育長。
教 育 長	杉江委員、どうぞ。

杉江委員	はい。ページによっては、1ページにわたり大きな写真があり、迫力があるように思いますが、子どもたちへの児童への視覚的な効果については、どうでしょうか。
教育長	選定委員長、この点についてはいかがですか。
石原選定教育長	はい。確かに、写真が美しく、ビジュアルに魅了されるという効果はあると感じます。ただ、例えば、5年生8ページの教材などは、空を背景に黒色の文字で教材が書かれており、文字が読みにくいような印象をもちました。
杉江委員	大きい写真が逆効果になる場合もあるかもしれませんね。
教育長	その他に意見はございませんか。 ないようでしたら、最後の廣濟堂あかつきの報告に移りたいと思います。選定委員長より報告願います。
石原選定教育長	はい。廣濟堂あかつきの教科書は、長く読み継がれてきた教材を中心に、読み物教材が多数掲載され、本教材と関連したコラム的な読み物も掲載されています。全体として、心に届く教材、自らの考えにつながる教材が多いという印象をもちました。特に高学年は「じっくり」読み込む教材が多いように感じます。例えば、6年生20ページにある「ヤリガンナ」では、法隆寺の修復に携わった西岡常一さんを取りあげた教材に加え、25ページには関連したコラムがあります。このコラムは人から学ぶというキャリア教育の視点に立ったものであり、児童が自らの生き方について考えられる教材であると思いました。 また、この廣濟堂あかつきには、別冊のノートがありますが、内容項目ごとにまとめられているため、同一の内容項目を扱った教材数によって、書く欄が増減しています。 以上が、廣濟堂あかつきの報告となります。
教育長	ありがとうございました。廣濟堂あかつきを担当いただいた吉田委員、報告をお願いします。
吉田委員	はい。廣濟堂あかつきには、別冊のノートがついていますが、内容項目別の順になっていて、教科書の教材の並びに即していない構成となっています。また、見開きで、どの教材も内容が統一されています。ですから書くことで学びを深めるという意図は理解できるのですが、書く量が多いという印象です。 教材の内容としては、詩や写真、新聞なども活用されており、変化

	<p>に富んだ興味深い構成であると感じました。</p> <p>各教材には、3つから4つの設問を設けた「学習の道すじ」があり、使用しやすいように思います。さらに、「学習を広げる」という欄には、当該の教材や内容項目と関連した本や人物の紹介などがあり、考えを深める工夫がされています。</p> <p>情報モラルを扱った教材も各学年で扱われていますが、付録での説明的な扱いになっているため、もう少し教材にうまく絡めて学べる工夫があればと感じました。以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。続きまして、杉江委員から報告をお願いします。</p>
杉 江 委 員	<p>はい。廣済堂あかつきは、読み物教材が多く、中でも先人の伝記が多いという印象をもちました。先ほどの教育出版の報告でも触れましたが、先人の伝記や、さまざまなジャンルで活躍する著名人、スポーツ選手等を扱った教材を用いたとき、果たして深く考え、議論する道德につなげられるか疑問に感じます。特に深い学びを促す発問の仕方が難しいのではないかと感じます。</p> <p>そんな中で、新しい視点の教材であると感じたのは、6年生152ページ「未来を変える挑戦」でのアップルの創業者スティーブ・ジョブズを扱った教材です。成功と挫折がありながら、挑戦を続けて、スマホやタブレットを開発したジョブズの姿勢が提示されています。ITの経営者を扱っている教材は他者では見られませんでした。以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。なにかご意見やご質問はございませんか。</p>
畑 中 委 員	<p>はい。選定委員長の報告にありましたが、私も6年生の「ヤリガンナ」という教材は良いと感じました。西岡常一さんを扱った教材は他者にも掲載されていますが、廣済堂あかつきの教材は深く作られています。</p>
教 育 長	<p>選定委員長、この点についてはいかがですか。</p>
石原選定教育長	<p>はい、廣済堂あかつきの教材は、他にも、例えば、5年生42ページには山中伸弥さんを扱った教材があり、47ページに関連したコラムがあります。このように深い学び、とりわけ「人から学ぶ営み」が実践できる教材であると感じます。</p>
畑 中 委 員	<p>ありがとうございました。</p>

教 育 長	その他に意見はございませんか。
都 築 委 員	教育長。
教 育 長	都築委員、どうぞ。
都 築 委 員	はい。廣濟堂あかつきのノートは内容も含めて、かなり書く量が多いように感じます。児童の負担という点でどうでしょうか。
教 育 長	選定委員長、お願いします。
石原選定教育長	はい。別冊「ノート」は書く欄が豊富です。そのことが、都築委員がおっしゃるように、児童の学びにとって負担になる可能性があるかと懸念します。また、書くための時間が必要になり、道徳科の主たる目的である「考え、議論する」ための時間が十分に確保できなくなるのではないかととも思います。
教 育 長	都築委員、いかがでしょうか。
都 築 委 員	私も書く量が多いということが、書くことに気が行きすぎたり、書けなかったことを気にする子どもがいたりするなど、道徳科がめざす「考え、議論する道徳」の実践にはつながりにくいのではないかと少し気になっていたところです。ありがとうございました。
教 育 長	では、その他にご意見やご質問はございませんか。 ないようでしたら、以上で、発行者8者の報告を終わりたいと思います。 ここで、1時間と少し経ちましたので、5分ほど休憩をとらせていただきたいと思います。休憩後は8者から1者を選びたいと考えています。では、2時15分に再開いたします。
— 休 憩 —	
教 育 長	それでは、再開いたします。 ここからは、さきほど報告していただいた各教科書発行者の研究結果を参考に、8者から1者を選んでいきたいと考えます。 1者に絞り込むにあたっては、まず8者から3～4者に絞りたいと思います。その際、奈良市が定めた研究の6観点をもとに、各委員より奈良市の教育に適していると思われる教科用図書を2者程度、理由をつけて報告いただきたいと思います。 では、杉江委員から報告願います。

はい。私はまず、「分冊のノートをどう捉えるか」を考えました。分冊としているのは、発行者順に、学校図書、日本文教出版、廣濟堂あかつき、ですが、その中で学校図書のノートについては、読み物教材に関連した活動であり、書き込み欄も少なく、ノートとは言い難いものです。よって、分冊のノートを作成している発行者からは除外して考えたいと思います。

日本文教出版のノートは、教材文末の「考えてみよう」にある設問をそのままノートの質問に使用し、教材順に1ページ毎に使用しています。このノートを使用することにより、教材によって子どもの学びが深まっているかどうかを観察できる、という点から考えると、日本文教出版のノートは優れていると評価いたします。

一方廣濟堂あかつきのノートは、自由な考え方を書かせる目的で作成されており、教材以外の考えについても書かせる欄を設けています。教材全体を収録している訳ではありません。ノートの並びは内容項目別になっており、授業の流れとは一致しません。しかし、書かせるボリュームと自由度という点で言えば、廣濟堂あかつきが評価されます。

道徳科という教科の性格上、児童の数値評価は行わないことになっており、1年間または1学期ごとに、児童の学びの深まりを見取るということを考えると、「独自のノートを作成した方が良いのではないか」という意見を個人的にはもっていますが、「別冊のノートが付いた教科書を使用した方が良い」という意見が多く、別冊のノートを作成している教科書発行者を選ぶのであれば、日本文教出版を選択いたします。

したがって、私が選択する1者目は、日本文教出版です。

ノート以外の推薦理由として、観点1及び2に関する内容として、選ばれている教材の大部分が、「命を大事に守ること」「人との関わりを大事にすること」にあてられています。そのなかには、当然いじめの問題も取り上げられており、いじめの問題を直接的に扱った教材もあります。文末の設問で子どもたちの問題意識を高め、討論へ進めさせようとしているところは、他者とそれほどの差はございませんが、その先で道徳ノートの記入に進ませているため、子どもたちにとって良いまとめになると言えると思います。

次にもう1者挙げるとしますと、光村図書出版を推薦したいと思います。観点3に関して言えば、「1年間で4つのまとまりに分けて、1つのまとまりごとに視点を変える」という作りになっています。このようなまとまりのくくり方は、他者にはみられません。また、コラムが設けられ、より広い現代的課題についての知識を得ることができると思います。

もう一点理由をあげますと、観点4について、2年生以上には「考

教 育 長

えよう」「つなげよう」という項目があり、テーマをさらに深く掘り下げるヒントがあります。また、それぞれのまとまりの終わりには、「学びの記録」ページがあり、各授業時の自己評価に続けて、まとめを書く欄も設けられています。以上です。

都 築 委 員

ありがとうございました。つづいて、都築委員より報告願います。

はい。それぞれ8者とも長所短所ありますが、選定委員会の記録や研究結果報告も参考に2者に絞りました。結論を申しますと、私も、光村図書出版と日本文教出版です。

光村図書出版を推薦する理由ですが、まず、教材が多彩であることです。読み物教材以外にも詩、漫画、絵や写真、世界人権宣言などを素材に、普遍的な問題や今日的な課題について考えることができるようになっていきます。子どもたちの多様で豊かな学びにつながるのではないかと考えます。

また、心に響く教材も多いように感じました。選定委員長が「葛藤場面が丁寧に描かれている」という言い方をされていましたが、心の機微が丁寧に描かれているので、共感を得るものが多いと感じました。人として誰もがそう感じたり、考えたりできる教材が多ければ、児童も自分のこととして考えることができるのではないかと思います。

2つ目の理由といたしまして、学びの手引きがしっかりしているということです。教材の初めに問いかけがあり、最後には学習のめあてとともに、3段階の問いかけがあります。ここにある設問では、子どもたちが自分自身と対話するような投げかけがなされているように思います。これにより、子どもたちが主体的に考え、学びを深めることが可能であると感じました。

また、教員が評価することを考えた場合、「学びの記録」で成長を見取ることができます。「学びの記録」にある問いかけも、「生活にいかせたことを書こう」や「自分が変わったと思うことを書こう」など、児童自身が成長を振り返ることができる問いかけとなっています。

教科書のサイズは小さいですが、読みにくいことはなく、机の大きさなどを考えた場合、扱いやすいかと思います。

もう1者は、日本文教出版ですが、こちらを推薦する理由として、別冊のノートがある発行者の中で比較検討した結果、日本文教出版のものが使いやすく、子どもの変容が見えやすい作りになっていると感じました。このノートは、掲載順が教科書に連動しており、児童にとっても負担なく使えると思います。「友達の考えを書く」欄をうまく活用すると、対話的な学びにつながると思いますし、その授業時間の学びを振り返ることができる欄も設けられています。レイ

アウトもシンプルで、量的にも適当です。教員が、児童の学びの様子を知る手助けにもなり得ると思います。

教科書の内容としては、普遍的な課題から現代的な課題まで幅広い題材を扱っており、人物の心の葛藤も比較的丁寧に描かれていると思いました。教材によっては、より詳しい学習の手引きがついており、グループワークやロールプレイを写真を用いて説明するなど、指導の際にも参考になると感じました。

もう一点、工夫がみられる点として、「心のベンチ」というページがあります。そこでは、子どもの発達段階に応じて、多様な課題や興味を引く話題、他教科と関連させて考えられる課題などが豊富に取り上げられています。子どもの興味・関心を引く教材であるように感じました。私からは以上です。

教 育 長

ありがとうございました。続いて、畑中委員より報告願います。

畑 中 委 員

はい。私も、お二人の委員と同じなのですが光村図書出版と日本文教出版の2者を選択しました。

まず、光村図書出版を選んだ理由として、教材の設定があります。等身大の子どもを扱った教材は、児童が登場人物と自分を重ねて考えることができますし、現在活躍中の人物や先人などを扱った教材では、多様な生き方から、子どもたちが自分の人生について考えるきっかけにもなります。

次に内容の程度ですが、子どもたちが引き込まれていくような流れであったり、考え、語り合っていく授業が実現しやすい流れになっていると感じました。教材に示されている「めあて」と「問い」も適切で、多面的に考えさせるのに適した投げかけであると思います。教材末についている「つなげよう」では、他教科や日常生活との関連、教材のテーマに関係する図書の紹介など、子どもたちの次の行動につながる工夫が見られます。

杉江委員もご指摘されたように、1年間を4分割にした「学習のまとめ」の視点も良いと感じました。

また、教科書の最後には、道徳の時間での学びが社会とどうつながっているかを見渡せる図があり、教室の学びと社会とを結び付けて捉えることが可能になると感じました。

もう1者の日本文教出版は、学校と家庭や地域との連携を念頭に作成されている点が選択した理由の1つです。また、「いじめの防止」に関しては各学年ともに、直接的な扱いをしている教材と間接的な扱いをしている教材を含め、5から9教材設けられ、重点的に扱っています。

ノートについては、個人的な意見としては、独自の道徳ノートを作成することが大事であると考えますが、別冊のノートを使用するの

教 育 長

であれば、日本文教出版のものが、少ないながらも保護者の記入欄があり、使用しやすいように感じました。以上です。

吉 田 委 員

ありがとうございました。つづいて、吉田委員、お願いします。

はい。結論から申しますと、私も選択したのは光村図書出版と日本文教出版です。

光村図書出版を選んだ理由として、題材の選択及び、取り扱いの点において、いじめや情報モラル等の問題をバランスよく扱っていること、また、多様性や人権など、これからの世界に大事な課題に関して、オープンエンド的に扱い、児童が考えるように構成されていることにあります。

例えば、1年生48ページの教材では、最後の文章が「深呼吸をして、けんじくんをみて言いました。」と、プツッと終わっています。そのような終わり方をすることによって、子どもは、まるで自分がその場面にいるかのように引き込まれ、課題について考えるのではないかと思います。

それ以外にも、5年生では科学的な視点を取り入れた教材や「子どもの権利条約」、6年生では「世界人権宣言」などを教材として扱っています。

情報モラルに関しては、教材とコラムをつなげることにより、具体例を挙げながら、マニュアル的にならないよう工夫されています。

創意工夫という点については、複数教材をつないで考えさせる工夫がみられます。例えば、5年生では、108ページの教材を読んだ後の「つなげよう」に、『すれちがい』で学んだことを思い出そう」と投げかけ、別の教材で以前に学んだ内容をつなげています。

サイズに関しても、B5判であり、児童の机の占有面積が少なくてすむと感じました。

もう一つの日本文教出版についてですが、題材の取り扱いに関して、まず、いじめ問題にストレートに切り込んでいます。そして、情報モラルに関連する教材を、友人関係等のテーマの中に自然に取り入れ、上手く扱っています。

また、防災や安全教育に関しても多くの教材で扱われているとともに、ロールプレイなどの体験的な活動も積極的に取り入れています。創意工夫の観点として、「心のベンチ」では多面的、多角的な考えができるように工夫されています。また、「問題をつかもう→自分なりに考えよう→問題について話し合おう→問題を解決するとき大切な考え方について話し合おう」という流れが丁寧に示された「学習の手引き」のある教材もあります。

別冊の「道徳ノート」は、友達の考えや自己評価の欄があり、大きさも児童が扱いやすいものとなっています。最終ページに1年間の

まとめがあり、保護者の記入欄があることも特徴です。経験の浅い教員にとっては指導の助けとなる教材であるように思いますが、一方で、独自のポートフォリオを作成させたい教員にとっては必要がないかもしれないと思いました。以上です。

ありがとうございました。

では、最後に私より報告いたします。私は、どの教科用図書もそれぞれに特徴があり、それぞれの良さがあると思うのですが、その中から2者を選ぶとするならば、皆さんと同じく、光村図書出版と日本文教出版を選びたいと思います。

まず、光村図書出版を選んだ理由として、「多様なジャンルの教材が設定されており、児童が興味関心を持って学ぶことができるように工夫されていること」が挙げられます。光村図書出版は、身近な問題だけでなく、いじめ、情報モラルなどの今日的な課題を扱った教材も系統的に設定しています。また、子どもが主体的に取り組めるよう、絵から気づきを促したり、ロールプレイで実践したりするような工夫があります。こうした教材の設定により、一人一人の児童が、答えが一つではない道徳的な課題を、自分の問題として捉えられると考えます。さらに、各教材にある「学習の手引き」にある「問い」は大事なポイントを押さえており、児童が学びを深めることに役立つと思います。

また、2点目として、「児童の心の成長をふりかえる『学びの記録』」のページが設けられ、児童が自分の心の変化を振り返ることができるようになっていること」があります。「学びの記録」のページは、1年生では3カ所、2年生から6年生では4カ所設けられ、児童が自分の心の変化を振り返ったり、成長の様子を知ることができるようになっています。光村図書出版には教科書に準拠したノートが付随していませんが、この「学びの記録」の回数や書き込む量は適度であると感じます。また、児童の評価にも活かすことができるので、評価が求められる教員にとっても利点になると考えます。

その他にも、教科書のサイズがB5判で、小学生にも扱いやすいこと、さし絵、図表、写真等のレイアウトも工夫されており、文字の小ささが気にならずに読みやすいこと、などの特徴から光村図書出版を選びました。

次に、日本文教出版を選んだ理由ですが、光村図書出版と同様に、「現代的な課題に対応した教材が充実していること」です。「いじめの防止」「情報モラル」「安全の確保」「社会の持続可能な発展」の4点を現代的・社会的課題とし、全学年にそれに関わる複数の教材を用意しています。こうした豊富な教材を通じた学習は、それぞれの問題を自分自身のこととして考えることにつながります。また、「心のベンチ」というコラムがすべての学年の教科書に掲載されており、教

材とは異なる角度から、道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えることができるよう配慮されているのも特徴です。

日本文教出版を選んだもう1つの理由は、別冊の「道徳ノート」が他者に比べ、使いやすいということです。日本文教出版の「道徳ノート」は教科書と連動していること、3年生から罫線が使用され記入しやすいこと、すべての教材の最後に、学習を振り返る欄があること、などの特徴があります。このノートの活用により、子どもが自分自身としっかり向き合い、自らの考えを深めることができると思います。また、ノートの各学年巻末にはスペースは小さいながらも「保護者記入欄」があるのもこの教科書の特徴の1つで、保護者にも子どもの心の変容を気付いていただけたらと思います。こうした理由により、私は光村図書出版と日本文教出版の2者を選びました。では、委員の皆様の見解を総合的に判断いたしますと、教材の多様さやバランスの良い配置という点で光村図書出版が、また、ノートの使いやすさや学習の手引き等の工夫という点で日本文教出版の2者の教科用図書が優れているというご意見でしたので、最初は3から4者の選定を想定し、進めてきましたが、委員全員が光村図書出版と日本文教出版の2者という意見ですので、この2者に絞らせていただけてよろしいでしょうか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。では、第一段階として、光村図書出版と日本文教出版に絞り込みができました。これから、その中で採択する教科書発行者を選定したいと思います。選定にあたっては、先ほどの選定でのポイントであった奈良市の6観点に加え、

- ・「考え、議論する道徳」に適した教科用図書か。
- ・ノートの有無を含め、児童の成長が顧みられ、評価にも生かされる教科用図書か。
- ・奈良市教育大綱や奈良市教育振興基本計画に沿った教科用図書か。

の3つの点を加味した審議をお願いしたいと考えております。

杉 江 委 員

教育長。

教 育 長

杉江委員、どうぞ。

杉 江 委 員

はい。なぜ、この3つを審議のポイントとするのかその理由について、教えてください。

教 育 長

はい、この3つを審議のポイントとさせていただいた理由ですが、

一つ目の「『考え、議論する道徳』を行うのに適した教科用図書か」につきましては、来年度から実施される教科書を使用した道徳科の授業では、道徳的な価値を自分のこととして考える「考え、議論する道徳」を行うことが文科省から求められていることにあります。そこで、「考え、議論する道徳」を行う上で適した教科用図書であるかをポイントの一つ目とさせていただきました。

第二に、「ノートの有無を含め、児童の成長が顧みられ、評価にも生かされる教科用図書か」につきましては、道徳科では児童生徒の成長の様子を文章で評価することになっており、そのための資料を積み重ねておくことが大切であると考えております。これまでの審議におきましても、ノートの有無やノートの使いやすさ、ノートがなくても記入欄が設けられ成長を顧みられる工夫があるか、などの視点から議論がなされてまいりました。それらを踏まえ、このことを2つめのポイントにさせていただきました。

最後に、「奈良市教育大綱や奈良市教育振興基本計画に沿った教科用図書か」についてでございますが、奈良市教育振興基本計画では「子どもたちの自他を尊重する心や規律を育むこと」を道徳教育における施策のねらいとしています。こうしたねらいを追求できる教科用図書であるかをポイントとすることは、奈良市の教育の根幹につながるものであると考え、3つめのポイントとさせていただきました。杉江委員、いかがでしょうか。

杉江委員

ありがとうございました。よく分かりました。他の委員の皆様にご異議がなければ、このまま審議を進めていただきたいと思います。

教育長

委員の皆様、ご異議はございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

異議なしと認めます。

それでは、まず、一つ目のポイントである「『考え、議論する道徳』に適した教科用図書かどうか」という観点から、ご意見をいただきたいと思います。

畑中委員

はい。

教育長

畑中委員、どうぞ。

畑中委員

はい。光村図書出版の教科書は、教科書の冒頭で、「道徳の時間は…」というページを設け、授業の在り方、考え方を示しています。これにより、私は児童の授業へ向かう意識が高められると思います。ま

た、教材を導入する際に、キャラクターが主題を投げかけています。子どもは、どんなことについて、考え、話し合うのかをイメージしながら、教材と出会うことができると思います。

都 築 委 員

教育長。

教 育 長

都築委員、どうぞ。

都 築 委 員

はい。私も、「投げかけ」という点に関して、光村図書出版の教科書には、自分自身を振り返らせる投げかけ、子どもが自分自身と対話をするを促すような問いが多いように感じます。一方、日本文教出版は、みんなで話し合いをすることをイメージした設問となっており、ややもすると形式的な話し合いで終わるのではないかという印象をもちました。

光村図書出版は教材の文章表現も丁寧で、文章の中に気付きを与えるような表現、「はっとさせる」ような表現に出会います。教材における「自我関与」、つまり児童が、登場人物に自分を投影して、その判断や心情を考えることなくしては、道徳的価値の自覚に至らないと言われているように、子どもが自分の生活と照らし合わせて考えさせるような文章が多いように思いました。

吉 田 委 員

教育長。

教 育 長

吉田委員、どうぞ。

吉 田 委 員

はい。確かに、光村図書出版の問いや教材は深みがあるように感じます。例えば、3年生以上に掲載されているヨシタケシンスケさんの漫画教材、「なんだろう、なんだろう」などは、哲学的な内容で、大人が読んでもおもしろいです。ただ、これを読んで児童が深く考え、意見を共有することができるまで持っていけるかと言われれば、教師の力量に依る部分が多いのではないかと思います。

教 育 長

授業の展開は教員の力量によるという吉田委員の意見には、私も同意します。「考え、議論する」授業を展開するには、教材の内容とともに児童に対する発問が大事だと思います。そうした点で見ると、光村図書出版の教科書には、先ほども述べましたように、「学習の手引き」が各教材の後にあり、そこには概ね3つの設問があります。それらの設問の1つめが「道徳的問題を明らかにする」問い、2つめが「道徳的価値について考えを深める」問い、そして、3つめが「自分や日々の生活に結びつける」問い、となっており、シンプルですが「考え、議論させる」ポイントが押さえられているように思

います。経験の浅い教員にとっても、授業の流れの指標となるのではないのでしょうか。

一方、これは2つめのポイントであるノートにも関連するのですが、日本文教出版の別冊ノートには3つの設問があり、2つめの設問が「友達の考え」を記入することになっています。「考え、議論する」上で友達の考えを聞き、ノートに書き記すことはもちろん大切ではありますが、自分自身で深く考えたり問いかけたりしたことを記すことが大切な時もあります。いつも友だちの意見を書く作業があるといった定型的な授業の展開になってしまえば、柔軟な授業展開がしにくいように感じます。

吉 田 委 員

教育長。

教 育 長

吉田委員、どうぞ。

吉 田 委 員

はい。教育長がおっしゃるように、日本文教出版の学習の手引きは丁寧で、考えさせる道筋をつけてはいますが、授業の展開がパターン化する恐れがあるかもしれないと、私も感じました。

杉 江 委 員

教育長。

教 育 長

杉江委員、どうぞ。

杉 江 委 員

はい。日本文教出版の教材は、どちらかと言えば既存の文章を使用しているものが多いですね。その点、光村図書出版の教材は編集委員会作成のものも多く、道徳の学習のために作成されているという印象をもちました。教材のテーマにしても、自分の生き方、家族とのことなど、身近なテーマを多く扱うとともに、そうした教材をバランスよくつないでいながら、世界について考えようとさせるなど、広く世界に目を向けさせる工夫があり、上手な創り方だと言えます。また、中には文章を完結させないで、子どもたちを誘い込ませるような創り方をしているなど、討論に向かわせる教材が多いように感じます。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは、次は二つ目のポイントである、「ノートの有無を含め、児童の成長が顧みられ、評価にも生かされる教科用図書かどうか」という観点についてご意見をいただきたいと思います。

吉 田 委 員

教育長。

教 育 長	吉田委員、どうぞ。
吉 田 委 員	私は、日本文教出版はノートがあること、またその内容も適度なものであったことが、絞り込みの際の選定理由になっていたと思います。確かに、既製のノートを使用するのであれば、日本文教出版のノートがよくできていると思います。しかし、児童の評価をするにあたり、理想的には、その都度教員が補強したり、児童が自由に思いを書いて、それらをポートフォリオとしてまとめたりするなどの工夫が必要であると思います。何らかの方法で子どもの学びを記録し、成長の様子を蓄積していくことは必要ですが、その方法については、教員が子どもの実態を踏まえて工夫してもらった方が良いのではないかと思います。
畑 中 委 員	教育長。
教 育 長	畑中委員、どうぞ。
畑 中 委 員	はい。私自身も、ノートがある方が良いのかどうか、判断しかねています。先ほどの教育長の話にもありましたように、ノートがあっても型にはまったものであっては意味がないと思います。一方、光村図書出版は「学びの記録」ページにより記録を積み重ねていけますが、独自のノートも作成する必要があると思います。
教 育 長	日本文教出版のノートは罫線も引かれてあり、書き込みやすい工夫があります。ただし、先ほどの1つめの議論でもノートのことに少し触れましたが、設問ごとに書く量が決められていることや、与えられた設問に対する考えしか書かせることができないことなど、児童の実態に応じて活用することが難しいという点があります。一方、光村図書出版は、教科書に付随のノートはありませんが、代わりに「学びの記録」を記入するページがあります。児童の発達段階にあったスタイルとなっており、中学年以降は、児童が学んだことやこれから活かしていきたいことなどを自由に記入することができるため、児童が自分自身の心の変化を振り返ることができます。教員にとっても、児童の変容をつぶさに見取ることができるのではないかと思います。
杉 江 委 員	教育長。
教 育 長	杉江委員、どうぞ。
杉 江 委 員	はい。私も既製のノートに頼るべきではなく、むしろ児童に自由な

	<p>ノートを作成させるのがよいのではという意見をもっています。教員にとって、一定の型があれば安心感はあると思いますが、やはり、児童の実態に応じたものを、記録として残していくべきではないでしょうか。</p>
都 築 委 員	<p>教育長。</p>
教 育 長	<p>都築委員、どうぞ。</p>
都 築 委 員	<p>はい。既製のノートがない教科書であれば、ワークシートを作成する必要が生じるなど、教員にとって負担になるかもしれません。しかし、私も子どもに深く考えさせて、しっかりと書かせるためには、型にこだわらない方がよいのではないかと感じました。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。ノートの有無については、「ノートに書き込んで振り返りができるのは便利だ」や、「経験の浅い教員にはメリットがある」という意見の一方で、「児童の実態に応じた独自のノートを作成した方がよい」等の意見もありました。</p> <p>それでは最後に、「奈良市教育大綱や奈良市教育振興基本計画に沿った教科用図書かどうか」という観点でご意見をお願いします。</p>
吉 田 委 員	<p>教育長。</p>
教 育 長	<p>吉田委員、どうぞ。</p>
吉 田 委 員	<p>はい。この点に関しては、どちらの教科書も良くできていると感じます。それぞれの特徴としては、日本文教出版は ICT の活用や情報モラルの教材をうまく扱っていますし、光村図書出版はアイデンティティの形成や、自己肯定感をもたせることに適していると感じます。</p>
畑 中 委 員	<p>教育長。</p>
教 育 長	<p>畑中委員、どうぞ。</p>
畑 中 委 員	<p>はい。私は、奈良市教育振興基本計画の掲げる「知・徳・体・夢・誇」すべてを学んでいけるのは道徳の教科書であると思いますし、「道徳を学ぶこと自体がキャリア教育である」と、今回教科書を研究しながら感じました。どの教科書も甲乙つけがたいところではありますが、丁寧に学びを積み重ね、深めていけるという観点から、私は光村図書出版の内容が良いように思いました。</p>

杉江委員

教育長。

教育長

杉江委員、どうぞ。

杉江委員

はい。畑中委員がおっしゃるように、奈良市教育振興基本計画の第3章には「めざす子ども像」として、「知・徳・体・夢・誇」をバランスよく育てる、そしてたくましく生きる子どもを育てていくというねらいがあります。もう一つは、基本方針2の7に道德教育の項目があり、道德教育の施策のねらいとして「子どもたちの自他を尊重する心や規律を育みます」という言葉があります。この2つのポイントから2者を比べますと、私も光村図書出版の方が、先ほど述べた点でバランスがとれていると言えらると思います。日本文教出版は情報モラルやいじめの問題に特化しているところがあります。この道德が教科になった直接の原因はいじめにあることから、いじめについて大きく扱ってもいいと思う部分もありますが、全てのベースにあるモラルというものを光村図書出版は大切にしており、そういった点で、奈良市教育振興基本計画と考えを同じくしているのは光村図書出版であると思います。

都築委員

教育長。

教育長

都築委員、どうぞ。

都築委員

はい。今も話題に挙がった奈良市教育振興基本計画の道德教育の施策の欄には、「命の大切さや、相手を思いやる人間性を育む教育に取り組む必要がある」とあります。自他を尊重するという点については、どちらの教科書も扱っていますが、「命の大切さや、相手を思いやる人間性を育む」点においては、いろいろなことの本質を見ることが大事になってくるように思います。その点、光村図書出版では、「自分の良いところに気付きましょう」や「きちんとあいさつをしましょう」ではなく、「自分の良いところを知ることにはなぜ大事なのでしょう」とか「きちんとあいさつをすることはなぜ大事なのでしょう」といったような、本質的なところにまで文言が及んでいる部分がたくさんあります。子どもが理解できるかどうかは別として、そういう言葉に常時触れるということは、子どもたちに、本質を見る気づきを与えていると思いますので、そういう意味で、光村図書出版の教科書では人間性豊かな子どもが育てられるのではないのでしょうか。

教育長

今、都築委員がおっしゃった「気づき」という部分において、私も

光村図書出版の教材には「気付きを促す」視点がふんだんに盛り込まれていると感じます。奈良市教育振興基本計画のねらいを達成するためには、多様なジャンルの教材を活用しながら、深い学びへと向かわせる工夫が不可欠であり、そういう点で教材を見たとき、光村図書出版の教材により、深い学びが実現するものと思います。

皆様から、その他にご意見はございませんか。

ご意見がないようですので、これまでの審議を踏まえ、1者を選定していきたいと思えます。

選定されたいずれの教科用図書も甲乙付けがたいのですが、協議のポイントとした3つの点に対して、委員の皆様からいただいた意見を総合的にみますと、光村図書出版の教科用図書が奈良市の教育や子どもに最も適しているという声が多かったと思えますので、光村図書出版を採択することにいたしますが、ご異議はございませんか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。

それでは、道徳科の教科用図書は、光村図書出版を採択することにいたします。このことについて、奈良市教育委員会事務局を通じて教科用図書第1採択地区の採択として奈良県教育委員会に報告いたします。

本日は、長時間にわたってのご審議、どうもありがとうございました。また、石原選定委員長も、約2ヵ月間に渡っての調査・研究、及び本日はその結果について、報告いただき、ありがとうございました。

以上をもちまして、「平成30年度使用奈良市立小学校『特別の教科道徳』教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。

— 休 憩 —

教 育 長

それでは、議事を再開いたします。続きまして、議案第18号の資料を配布してください。

よろしいですか。

それでは、議案第18号「平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択について」の審議を行います。

本日の審議資料作成にあたっていただいた奈良市立高等学校教科用図書選定委員会の構成及び選定の経過について、学校教育課長より説明をお願いいたします。

学校教育課長

はい。それでは、ご説明をいたします。奈良市立一条高等学校の教

科用図書採択におきましては、5月16日に「奈良市教科用図書選定委員会規則」に基づき、教科用図書の採択を適正かつ公正に行うため、奈良市立高等学校教科用図書選定委員会及び研究部会を設置いたしました。教科用図書選定委員会は、一条高等学校から校長、副校長、教頭、教諭あわせて14名と保護者組織の代表2名、教育委員会事務局から学校教育課長、課長補佐、指導係長、高等学校担当指導主事のあわせて4名が加わり、合計20名で構成されました。また、教科用図書選定委員会研究部会は、一条高等学校の教諭及び講師の延べ62名で編成され、9つの部会に分かれて研究を行いました。

そして、各研究部会が調査研究した結果とともに採択を希望する教科用図書を選定委員会に報告いたしました。選定委員会では6月21日に、各研究部会の調査・研究結果をもとに選定資料を作成し、6月30日、選定委員会委員長より教育委員会に報告いただきました。奈良市立高等学校教科用図書選定委員会の構成及び選定の経過についての説明は、以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。

それでは、本日の審議の進め方について、確認をさせていただきます。選定委員会で作成をいただいた資料の報告内容及び新規採択の教科用図書について、選定委員長から説明をいただき、審議ののちに、採択を行うことといたします。委員の皆様には、教育委員会の権限と責任のもと、慎重かつ厳正に採択をいただきますよう、よろしく願いいたします。

審議に入る前に、まず教科用図書の採択にあたり、各研究部会での研究経過ならびに選定資料について説明をお願いいたします。

錦 選 定 委 員 長

はい。奈良市教科用図書選定委員会規則に基づき、5月16日に開催されました第1回選定委員会より、「平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書採択の基本方針」に則り、教科用図書採択のための資料作成にあたってまいりました。

各研究部会では、基本方針3に基づき、現在使用している教科書が、「平成30年度使用 高等学校用教科書目録」の第1部に掲載されているかどうかを点検し、継続使用が可能かを確認いたしました。目録に掲載されていない場合には新規に採択をする必要があるため、目録に掲載されている教科用図書の中から、一条高等学校の教育目標や各学科の特色、生徒にとってふさわしいかどうか等から3冊を選定いたしました。その後、その3冊の教科用図書それぞれについての研究を行い、研究結果とともに新規を希望する教科用図書を選定委員会に報告いたしました。

また、現在使用している教科用図書が目録に掲載されていても、平

	<p>成28年度の検定を経た新版の教科用図書が同じ種目に登載されていれば、現在使用している教科用図書の授業担当者の報告などから使用状況を確認するとともに、新たに目録に登載された教科用図書との比較検討を実施いたしました。</p> <p>各研究部会での研究内容と経過につきましては、資料Ⅰの様式1「研究経過報告書」において報告をさせていただいております。</p> <p>また、新規に採択をする教科用図書や採択替えを検討する教科用図書の調査研究及び比較検討については、資料Ⅱの様式3「平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書研究結果について」において報告のとおりでございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、錦選定委員長より各研究部会での研究経過ならびに選定資料について説明いただきましたが、何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。</p>
吉 田 委 員	<p>教育長。</p>
教 育 長	<p>吉田委員、どうぞ。</p>
吉 田 委 員	<p>はい。教科書採択にあたっては公正を確保することが最も大切であると思っておりますが、そのために取り組まれたことについて教えてください。</p>
教 育 長	<p>錦選定委員長、お願いします。</p>
錦 選 定 委 員 長	<p>はい。文部科学省からの通知内容について周知を図るとともに、見本本を届けに来校する教科書発行者の担当者と選定委員、研究部員が一切会わないようにするなど、関係者との関わりをもたないことを徹底しております。また、教科用図書の編集やいわゆる白表紙本を閲覧したことがないことを確認する申告書の提出を求め、選定委員、研究部員のすべてから、教科書発行者との関わりが一切ないとの確認をとった上で、選定委員、研究部員に推薦をいたしております。</p>
吉 田 委 員	<p>公正を確保するための取り組みがよく分かりました。ありがとうございました。</p>
教 育 長	<p>それでは他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
都 築 委 員	<p>教育長。</p>

教 育 長	都築委員、どうぞ。
都 築 委 員	はい。私は選定委員会から提出されました報告書について、意見を申し上げたいと思います。選定委員会からの報告等に目を通しましたけれども、資料にあります各教科からの研究結果の報告見ますと、教科用図書見本本につきまして、綿密に調査、研究していただき、適切な資料を作っていただいたという印象をもっております。
教 育 長	ただいま、都築委員より選定委員会から報告のあった高等学校の研究結果報告書等の資料は、教科用図書採択を審議する上で、参考資料として適正で、十分に信頼のおけるものであるとの意見をいただきましたが、みなさん、ご異議はございませんでしょうか。
各 委 員	異議なし。
教 育 長	ありがとうございます。 それでは、これより高等学校の教科用図書採択のための審議に入ります。お手元の選定委員会から提出された資料Ⅰ、資料Ⅱをご覧ください。 平成30年度使用教科用図書について、錦選定委員長より説明をいただきます。
錦 選 定 委 員 長	はい。平成30年度使用教科書目録への登載状況を確認し、各研究部会で新規採択かあるいは継続採択かを検討いたしました結果、今年度は6教科15種目の教科用図書につきまして、新規採択の審議をお願いすることになりました。新規採択に関わる選定結果、および各教科用図書の調査結果につきましては、資料Ⅱの様式3「平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書研究結果について」において報告のとおりでございます。 なお、継続採択を希望する教科用図書につきましては、「1・2学年継続使用」及び「2・3学年継続使用」のものがございますが、10教科32種目の教科用図書でございます。以上でございます。
教 育 長	ありがとうございました。 それでは、新規採択の種目につきまして審議を行いたいと思いますが、何かご意見やご質問はございませんか。
杉 江 委 員	教育長。
教 育 長	杉江委員、どうぞ。

杉 江 委 員	はい。1つご質問をさせていただきたいと思います。新規採択の教科書を選定するにあたって、各研究部会で重点事項として議論されたことは、どういうことなのでしょうか。
教 育 長	錦選定委員長、お願いします。
錦選定委員長	<p>はい。今年度の基本方針に定められた、1「構成・配列、分量」2「内容・程度」3「表記、表現、印刷等」4「題材の選択及び扱い」の4つの観点に基づき調査研究及び比較検討を行いました。</p> <p>また、本校におきましては「生徒の未来を開く」ことを教育の目的とし、その目標として、コミュニケーションツールとしての英語力を身につける、5教科型を共に学び将来への基盤となる学力をつける、課外活動等から得られる人間力をつける、21世紀型能力及びそのリテラシーを習得した生徒を育むこととし、またそれを目指すべき生徒像としております。このことを踏まえ、選定におきましては、本校が研究主題として掲げる「アクティブラーニングをつうじて思考力・判断力・表現力を伸ばす」、つまり、主体的・対話的で深い学びを実現するために、相応しい教科書であるかどうかを重視し、各研究部会で選定作業を行ってまいりました。</p> <p>さらに、具体的な取り組みとしての「思考力」を養う際、本校生徒に適した素材であるか、生徒が主体的に学ぶことができる素材であるかといったことなどについて考慮しながら選定を行いました。加えて、公正性の確保と情報開示に耐えられる透明性、大学入試への対応も考慮いたしております。以上でございます。</p>
杉 江 委 員	よく分かりました。ありがとうございました。
教 育 長	その他、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。
畑 中 委 員	教育長。
教 育 長	畑中委員、どうぞ。
畑 中 委 員	はい。「日本史A」に関しまして、実教出版の『新日本史A 新訂版』と山川出版の『現代の日本史 改訂版』はどちらも大差ないと感じますが、実教出版を選ぼうとする決め手は何なのでしょうか。
教 育 長	錦選定委員長、どうぞ。
錦選定委員長	はい。先ほど重点事項として申し上げましたとおり、研究部会におきましても、「思考力」を養う際に、本校生徒に適した素材であるか、

	生徒が主体的に学ぶことができる素材であるかといったことなどについて検討いたしましたところ、生徒の視覚に訴える資料や生徒自らが考えるテーマとなる素材が豊富で、主体的に学ぶことが容易な構成である実教出版の「新日本史A 新訂版」の採択を希望しました。
教 育 長	畑中委員、いかがですか。
畑 中 委 員	はい。ありがとうございました。よくわかりました。
教 育 長	畑中委員より、「日本史A」につきまして、ご意見、ご質問をいただきましたが、その他にございませんでしょうか。
都 築 委 員	教育長。
教 育 長	都築委員、どうぞ。
都 築 委 員	はい。私からは数学について質問させてください。「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」に関しまして、この3科目の調査結果が1つにまとめられていますけれども、これはどうしてなのでしょう。理由を教えてください。
教 育 長	錦選定委員長、お願いします。
錦 選 定 委 員 長	はい。都築委員よりご指摘いただきましたことにつきまして、ご説明させていただきます。数学という教科の特性上、教科書につきましては各教科書発行者とも「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」の科目の教科書をシリーズ化し、各シリーズで共通した編修趣意の基に教科書を作成しております。問題のレベルや内容につきまして、例えば、数研出版の「番号327」のシリーズであれば、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」で同じようなレベルのものが採用されております。また、科目が異なり、学習内容が異なっても、紙面構成、説明の仕方、あるいは、説明や図表といった資料などの表記表現はほとんど変わらないものとなっております。研究部会では、各科目、それぞれの教科用図書を比較検討いたしました。いずれの科目においても、比較検討をした3者についての評価は同一シリーズで同じでございました。そのため、シリーズとしての研究結果として報告をさせていただいております。 また、いずれの教科用図書も学習指導要領に則ったものであり、取り上げられている題材もほぼ同じでございます。その中で、発展的な内容についての扱いの差や、問題のレベル、説明のわかり易さな

	<p>どについて検討した結果、「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」とも、数研出版の「番号327」のシリーズの教科用図書が3者の中で最も本校の生徒にあったものであると判断をいたしました。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>数学の教科書の報告につきまして、選定委員長から説明をいただきました。これにつきましても、学校教育課長から説明をお願いしたいとおもいます。</p>
学校 教育 課 長	<p>はい。学校教育課におきましても、その点につきましては検討をいたしました。目録におきましては、別々の教科書として掲載されております。また、学習内容も異なっております。しかし、各発行者とも各科目を1つのシリーズとしてまとめて、教科書を作成しており、学校現場もシリーズで使用しているという実態に合わせて、報告書を作成いただいたというところでございます。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>都築委員、いかがでしょうか。</p>
都 築 委 員	<p>ありがとうございました。よく分かりました。</p>
教 育 長	<p>その他に。ご意見、ご質問ございませんでしょうか。</p>
畑 中 委 員	<p>教育長。</p>
教 育 長	<p>畑中委員、どうぞ。</p>
畑 中 委 員	<p>はい。数学について、もう1つ質問をさせていただきます。「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」が新規採択となりましたが、「数学B」や「数学Ⅲ」については新規採択とはならないのでしょうか。</p>
教 育 長	<p>錦選定委員長、お願いします。</p>
錦 選 定 委 員 長	<p>はい。「数学B」については、資料Ⅰの様式1「研究経過報告書」の記載の通りです。「数学B」は、2年生から学習する科目であり、来年学習することになる1年生は、現在、旧版にあたる数研出版の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」のシリーズの教科書を使用しております。継続使用を希望しております数研出版の『数学B』は、同じ旧版のシリーズのものです。この教科書は平成30年度使用教科書目録にも掲載されており、使用可能であることが確認できております。教科書使用の連続性、教育課程を考慮し、基本方針に則って継続使用</p>

	<p>することといたしました。</p> <p>なお、「数学Ⅲ」については、改訂版や新たに検定を受けた教科書がございませんでしたので、基本方針に則り、数研出版の『数学Ⅲ』を継続使用とすることを確認しております。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	畑中委員、いかがですか。
畑 中 委 員	はい。ありがとうございました。
教 育 長	他に、ございませんか。
吉 田 委 員	教育長。
教 育 長	吉田委員、どうぞ。
吉 田 委 員	はい。「化学・理数化学」の報告について質問します。ここでは、啓林館、東京書籍、数研出版の3者の総合所見においていずれにも「幅広い学科で利用できる」と報告されていますが、その中でも啓林館の「化学 改訂版」を希望する決め手は何なののでしょうか。
教 育 長	錦選定委員長、お願いします。
錦 選 定 委 員 長	はい。資料Ⅱの様式3「研究結果について」の「採択を希望する理由」に記載しておりますとおり、発展で扱われている内容の差が主たる決め手となりました。啓林館では、各部の終わりに難易度の高い内容を「発展」として取り扱っています。中でも、第4部の発展において、立体異性体の1つであるジアステレオ異性体やメソ体といった高度な内容に触れているだけでなく、MS（質量分析計）やNMR（核磁気共鳴スペクトル）などの最新測定機器について説明がなされています。これは他者にはない、興味深い内容であると考えます。以上でございます。
教 育 長	吉田委員、いかがですか。
吉 田 委 員	はい。資料Ⅱ、様式3、啓林館の「研究結果」の中に、大学入試への対応に関わる記述があり、その点が決め手であるのではないかと考えておりましたが、ただ今の説明を受けて、教科書の内容や、話題の多様性も決め手の1つであったということが分かりました。
教 育 長	その他に、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

杉江委員

教育長。

教育長

杉江委員、どうぞ。

杉江委員

はい。外国語の教科用図書なのですが、昨年度の採択に関わって研究しておりましたので、各者の編修方針等は理解をしております。外国語の各科目で採択を希望しておられる教科用図書は、すべて適当であると私は考えます。

教育長

杉江委員、ご意見ありがとうございます。その他に、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、採択に移りたいと思います。

6教科15種目の教科用図書につきまして、選定委員会から提示された教科用図書を新規に採択することにご異議ございませんか。

各委員

異議なし。

教育長

異議なしと認めます。

新規採択希望の6教科15種目の教科用図書の審議は以上になります。

続きまして、「平成30年度使用教科用図書選定一覧（案）」をご覧ください。新規継続欄に『新規』と記してあります教科用図書は、平成30年度から新規に採択を希望するもの、また、新規継続欄が『継続』となっております教科用図書は、各種目において本年度と同一の教科用図書を使用するものであります。ここに挙げられている新規採択希望の6教科15種目の教科用図書については、先ほど承認いただきました。これからは継続採択が希望されている10教科32種目の教科用図書について、審議をいたしたいと思います。奈良市立高等学校教科用図書採択の基本方針3には、「一度採択された教科用図書が『高等学校用教科書目録』に登載されている間は、原則として4年間継続して採択するものとする。」とされていること、ならびに、一条高等学校の教育理念に基づき、現行の教科用図書を使用することによって教育成果が認められていることから、継続採択について特段の問題はないと考えますが、現在使用している10教科32種目の教科用図書を継続して採択することに異議ございませんか。

各 委 員

異議なし。

教 育 長

異議なしと認めます。

それでは、10教科32種目につきましても、現在使用している教科用図書を継続して採択いたします。

以上のように、採択を議決いたしました。

お手元にごさいます、「平成30年度使用教科用図書選定一覧（案）」の（案）を消していただきますように、お願いをいたします。

錦選定委員長をはじめ、選定委員、研究員の方々には、5月16日の選定委員会設置以来、資料作成を含め本日の採択まで、綿密な調査研究をいただき、大変ありがとうございました。また、教育委員の皆様にも教科用図書の採択に向けて、検討をいただきました。大変ご苦勞様でございました。

以上をもちまして、「平成30年度使用奈良市立高等学校教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。

これで本日の案件の審議を終了いたします。

この他に、何かご意見、連絡事項等、ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それではこれもちまして、本日の教育委員会を閉会いたします。皆様ありがとうございました。

小学校用「特別の教科 道徳」教科用図書一覧（平成30年度使用）

発行者	書名
光村図書出版	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき
	どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき
	どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき
	どうとく 4 きみが いちばん ひかるとき
	道徳 5 きみが いちばん ひかるとき
	道徳 6 きみが いちばん ひかるとき

平成30年度使用教科用図書選定一覧											
学校名	奈良市立一条高等学校					全日制課程					
科目名	使用学年	発行者の番号・略称		教科書の記号・番号		教科書名	新規継続	使用学科			
								普通	外国語	数理科学	人文科学
国語総合	1	2	東書	国総	334	国語総合 現代文編	継続	○	○	○	○
国語総合	1	2	東書	国総	335	国語総合 古典編	継続	○	○	○	○
現代文B	2	2	東書	現B	322	精選現代文B	新規	○	○	○	○
古典B	2	183	第一	古B	350	高等学校 改訂版 古典B 古文編	新規	○	○	○	
古典文学基礎	2	183	第一	古B	350	高等学校 改訂版 古典B 古文編	新規				○
古典B	2	183	第一	古B	351	高等学校 改訂版 古典B 漢文編	新規	○	○	○	
古典文学基礎	2	183	第一	古B	351	高等学校 改訂版 古典B 漢文編	新規				○
現代文B	3	2	東書	現B	302	精選現代文B	継続	○	○	○	
文学・評論研究	3	2	東書	現B	302	精選現代文B	継続				○
古典B	3	183	第一	古B	322	高等学校 古典B 古文編	継続	○	○	○	
古典文学研究	3	183	第一	古B	322	高等学校 古典B 古文編	継続				○
古典B	3	183	第一	古B	323	高等学校 古典B 漢文編	継続	○	○	○	
漢文講読	3	183	第一	古B	323	高等学校 古典B 漢文編	継続				○
世界史A	1	7	実教	世A	311	世界史A 新訂版	継続	○	○	○	○
世界史A	1	81	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	継続	○	○	○	○
世界史B	2	81	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	継続	○	○		
人文世界史Ⅰ	2	81	山川	世B	310	詳説世界史 改訂版	継続				○
世界史B	3	81	山川	世B	304	詳説世界史	継続	○	○		
人文世界史Ⅱ	3	81	山川	世B	304	詳説世界史	継続				○
日本史A	1	7	実教	日A	313	新日本史A 新訂版	新規				○
日本史A	1	81	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	継続				○
日本史B	2	81	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	継続	○	○		
人文日本史Ⅰ	2	81	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	継続				○
日本史B	3	81	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	継続	○	○		
人文日本史Ⅱ	3	81	山川	日B	309	詳説日本史 改訂版	継続				○

科目名	使用学年	発行者の番号・略称		教科書の記号・番号		教科書名	新規継続	使用学科			
								普通	外国語	数理科学	人文科学
地理A	2	46	帝国	地A	308	高等学校 新地理A	継続	○	○	○	
地理A	2	46	帝国	地図	310	新詳高等地図	継続	○	○	○	
地理B	3	130	二宮	地B	305	新編 詳解地理B改訂版	継続	○	○	○	
地理B	3	46	帝国	地図	310	新詳高等地図	継続	○	○	○	
現代社会	1	2	東書	現社	313	現代社会	継続	○			
現代社会	2	2	東書	現社	313	現代社会	継続		○		○
現代社会	3	2	東書	現社	313	現代社会	継続			○	
倫理	3	35	清水	倫理	308	高等学校 新倫理 新訂版	継続	○	○		○
政治・経済	3	183	第一	政経	309	高等学校 改訂版 政治・経済	継続	○	○		
時事研究	3	183	第一	政経	309	高等学校 改訂版 政治・経済	継続				○
数学Ⅰ	1	104	数研	数Ⅰ	327	改訂版 数学Ⅰ	新規	○	○		○
理数数学Ⅰ	1	104	数研	数Ⅰ	327	改訂版 数学Ⅰ	新規			○	
数学Ⅱ	1	104	数研	数Ⅱ	327	改訂版 数学Ⅱ	新規	○	○		○
理数数学Ⅰ	1	104	数研	数Ⅱ	327	改訂版 数学Ⅱ	新規			○	
数学Ⅱ	2	104	数研	数Ⅱ	309	数学Ⅱ	継続	○	○		○
理数数学Ⅱ	2	104	数研	数Ⅱ	309	数学Ⅱ	継続			○	
数学Ⅲ	2	104	数研	数Ⅲ	308	数学Ⅲ	継続	○	○		
理数数学Ⅱ	2	104	数研	数Ⅲ	308	数学Ⅲ	継続			○	
数学Ⅲ	3	104	数研	数Ⅲ	308	数学Ⅲ	継続	○	○		
理数数学Ⅱ	3	104	数研	数Ⅲ	308	数学Ⅲ	継続			○	
理数数学特論	3	104	数研	数Ⅲ	308	数学Ⅲ	継続			○	
数学A	1	104	数研	数A	327	改訂版 数学A	新規	○	○		○
理数数学特論	1	104	数研	数A	327	改訂版 数学A	新規			○	
数学B	2	104	数研	数B	309	数学B	継続	○	○		○
理数数学特論	2	104	数研	数B	309	数学B	継続			○	
物理基礎	1	104	数研	物基	318	改訂版 物理基礎	継続	○	○		○

科目名	使用学年	発行者の 番号・略称		教科書の 記号・番号		教科書名	新規 継続	使用学科			
								普通	外国 語	数理 科学	人文 科学
物理	2	104	数研	物理	313	改訂版 物理	新規	○	○		
物理	3	104	数研	物理	304	物理	継続	○	○		
理数物理	1	104	数研	物理	314	改訂版 総合物理1 力と運動・熱	新規			○	
理数物理	1	104	数研	物理	315	改訂版 総合物理2 波・電気と磁気・原子	新規			○	
理数物理	2	104	数研	物理	306	総合物理1 力と運動・熱	継続			○	
理数物理	2	104	数研	物理	307	総合物理2 波・電気と磁気・原子	継続			○	
理数物理	3	104	数研	物理	306	総合物理1 力と運動・熱	継続			○	
理数物理	3	104	数研	物理	307	総合物理2 波・電気と磁気・原子	継続			○	
化学基礎	1	61	啓林館	化基	318	化学基礎 改訂版	継続	○	○		
化学基礎	2	61	啓林館	化基	318	化学基礎 改訂版	継続				○
化学	2	61	啓林館	化学	312	化学 改訂版	新規	○	○		
化学	3	61	啓林館	化学	305	化学	継続	○	○		
理数化学	1	61	啓林館	化基	318	化学基礎 改訂版	継続			○	
理数化学	2	61	啓林館	化学	312	化学 改訂版	新規	○		○	
理数化学	3	61	啓林館	化学	305	化学	継続			○	
生物基礎	2	104	数研	生基	316	改訂版 生物基礎	継続	○	○		○
生物	2	104	数研	生物	310	改訂版 生物	新規	○			
生物	3	104	数研	生物	303	生物	継続	○			
理数生物	1	104	数研	生基	316	改訂版 生物基礎	継続			○	
理数生物	2	104	数研	生物	310	改訂版 生物	新規			○	
理数生物	3	104	数研	生物	303	生物	継続			○	
保健	1	50	大修館	保体	304	現代高等保健体育改訂版	継続	○	○	○	○
保健	2	50	大修館	保体	304	現代高等保健体育改訂版	継続	○	○	○	○
音楽Ⅰ	1	27	教芸	音Ⅰ	310	MOUSA1	継続	○	○	○	○
音楽Ⅱ	2	27	教芸	音Ⅱ	310	MOUSA2	新規	○			
美術Ⅰ	1	116	日文	美Ⅰ	305	高校生の美術1	継続	○	○	○	○

科目名	使用 学年	発行者の 番号・略称		教科書の 記号・番号		教科書名	新規 継続	使用学科			
								普通	外国 語	数理 科学	人文 科学
美術Ⅱ	2	116	日文	美Ⅱ	304	高校生の美術2	新規	○			
書道Ⅰ	1	38	光村	書Ⅰ	308	書Ⅰ	継続	○	○	○	○
書道Ⅱ	2	38	光村	書Ⅱ	308	書Ⅱ	新規	○			
コミュニケーション英語Ⅰ	1	61	啓林館	コⅠ	339	Revised ELEMENT English Communication Ⅰ	継続	○		○	○
コミュニケーション英語Ⅱ	2	61	啓林館	コⅡ	337	Revised ELEMENT English Communication Ⅱ	新規	○		○	○
コミュニケーション英語Ⅲ	3	61	啓林館	コⅢ	311	ELEMENT English Communication Ⅲ	継続	○		○	○
総合英語	1	212	桐原	コⅠ	355	PRO-VISION English Communication Ⅰ New Edition	継続		○		
総合英語	2	212	桐原	コⅡ	353	PRO-VISION English Communication Ⅱ New Edition	新規		○		
総合英語	3	183	第一	コⅢ	320	Perspective English Communication Ⅲ	新規		○		
英語表現Ⅰ	1	109	文英堂	英Ⅰ	311	UNICORN English Expression 1	継続	○		○	○
英語表現Ⅱ	2	109	文英堂	英Ⅱ	310	UNICORN English Expression 2	継続	○		○	○
英語表現Ⅱ	3	109	文英堂	英Ⅱ	310	UNICORN English Expression 2	継続	○		○	
日英言語比較	3	109	文英堂	英Ⅱ	310	UNICORN English Expression 2	継続				○
英語表現	1	104	数研	英Ⅰ	331	Revised POLESTAR English Expression Ⅰ	継続		○		
英語表現	2	104	数研	英Ⅱ	324	Revised POLESTAR English Expression Ⅱ	新規		○		
英語表現	3	104	数研	英Ⅱ	308	POLESTAR English Expression Ⅱ	継続		○		
家庭基礎	2	7	実教	家基	314	新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来	継続	○	○	○	○
社会と情報	1	116	日文	社情	316	新・社会と情報	継続	○	○		○
情報の科学	1	7	実教	情科	307	最新情報の科学 新訂版	継続			○	
情報の科学	2	7	実教	情科	307	最新情報の科学 新訂版	継続			○	